

昭和59年度一部事務組合等に対する負担予定額

総負担額 2億7,176万円

(単位：万円)





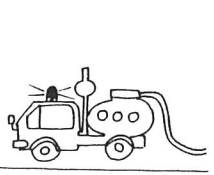
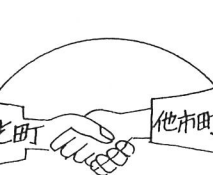
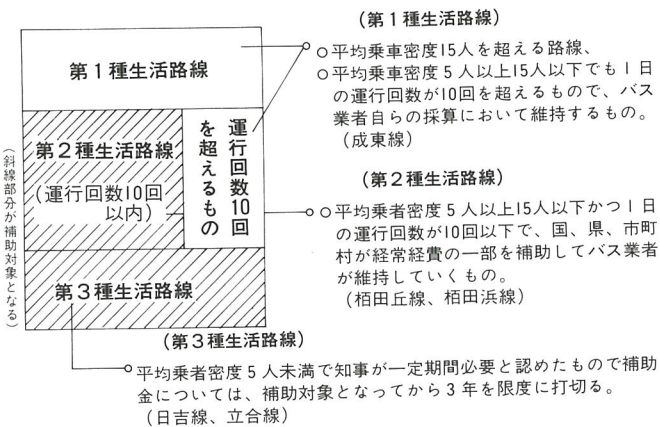
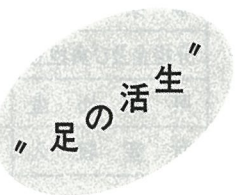
八匠水道企業団	組合立東陽病院	八日市場市外三町消防組合	八日市場市ほか三町環境衛生組合	東総衛生組合	東総地区広域市町村圏事務組合
					
7,196	5,681	7,082	4,778	1,047	1,392

図-1



(図-1 参照)

みなさんの生活の足として運行されている千葉交通乗合バスは、自家用車の普及でバス利用者が減少し、バス会社は赤字経営に落ちり、国、県、町の補助により運営が維持されています。光町は生活路線が三種類のクラスに別けられて、第2・3種はこの補助制度により運行されています。



乗合バスが廃止になったら...

現在、栢田浜線と栢田丘線が第2種生活路線に指定されていますが、乗車人員の減少から来年度から第3種生活路線(廃止対象路線)へ転落する様相を示しております。一方、成東線についても今年度から第2種生活路線に転落するものとおもわれます。

また、日吉線、立合線については第3種生活路線の指定を受け、五十七年から三ヶ年を運行限度に維持してきましたが、路線確保期日が六十年九月までで、その存続問題が問われることになりました。

日吉線、立合線がそのまま利用者が増えないまま進展すると、六十年九月には廃止となってしまいます。

町では、町民福祉の確保を目的としてバス路線を維持してきました。しかし、現在のままの利用者数でバスの運行を確保するには、バス事業の赤字分を全て町が負担することになります。日吉線のみ運行のために、町で負担する費用は一、〇〇〇万円と予測されます。

地域住民の方がたの一層のバス利用をお願いいたします。